

交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	生物資源学部共生環境学科環境デザインコース
学年(出発時)	2年終了時
大学名	エアランゲン・ニュルンベルク大学
国	ドイツ
留学期間	2017年 2月 25日 ~ 2018年 2月 25日
派遣先での身分	学部生

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	起床
9:00	朝食
10:00	授業
11:00	授業
12:00	授業
13:00	昼食
14:00	図書館で自習
15:00	授業
16:00	授業
17:00	タンDEM
18:00	タンDEM
19:00	図書館で自習
20:00	図書館で自習
21:00	帰宅
22:00	夕食
23:00	就寝
0:00	

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
Übungen im Formulieren B1.1	1		ドイツ語	ディスカッション、ペアワーク、プレゼン2回
Phonetik (Aussprachetraining) B1	1		ドイツ語	講義、試験
Grammatik B1.1	1		ドイツ語	講義、試験
Mündlicher Ausdruck B1.1	1		ドイツ語	ディスカッション、グループワーク、プレゼン1回
Geschichte	1		ドイツ語	講義、試験
Hörverstehen B1.2	1		ドイツ語	講義、グループワーク、試験
Leseverstehen B1.2	1		ドイツ語	講義、試験
Grammatik B1.2	1		ドイツ語	講義、試験

大学のサポート	
チューターの有無	有り
チューターのサポート内容	ドイツ語を教えてもらう
語学コースの有無	有り
コース名、料金、期間等	Ferienintensivkurs 315€ 2週間

生活	
住居のタイプ	学生寮
住居の名前	Studentenwohnheim (Hartmannstr. 127)
部屋タイプ	Einzelapartment
ルームメイト(国籍)	無し
室内設備	キッチン・トイレ・シャワー込
共用施設	無し
インターネット設備	有り(有料)
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	バスか自転車
アルバイトの有無	無し
アルバイトの内容	無し

渡航	
Visaの種類	学生ビザ
Visa申請先	エアランゲン
Visa取得にかかった日数	1か月程度
Visa取得にかかった費用	100 €
Visa取得方法、提出書類等	パスポート、ビザ用写真、日本で取得した経費負担誓約書、入学許可書、ドイツでの保険の証明書、オリエンテーションで指示された書類などを大学の職員に提出し、市役所から連絡が来たら市役所で100€を支払う。その後市役所から手紙が来たら市役所へビザを受け取りに行く。
留学先大学の最寄り空港までの経路	ニュルンベルク空港からエアランゲンまで30番のバスで40分
渡航費用	170,000円程度
ピックアップサービスの有無	無し

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	1年遅れ
有る場合、その理由	就活とゼミをしっかりとやるため
就職活動開始時期	2019年3月
帰国後の進路	大学残り2年終えた後就職予定

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	1€＝135円
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	ドイツの健康保険1か月10€＋ドイツの海外旅行保険年間9€ ＋日本の海外留学保険年間5万円＋クレジット付帯保険
学費(教科書代や語学コース授業料等)	Ferienintensivkurs 315€×春休みと夏休みの2回
宿舍費(月額)	228 €
光熱費(月額)	54,96€
食費(月額)	500 €
その他	semesterticket半年210€＋旅行費10000€
留学期間中にかかった費用の合計	22,000 €

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

私は交換留学の1年前に三重大大学のドイツ文化研修で1か月間ドイツを訪れました。そしてドイツが好きになり、ドイツに留学したいと思うようになりました。しかし、私が所属しているのは生物資源学部でドイツ語は専門ではなく、ドイツ語は第2言語で学んだだけだったためドイツに留学することをとても悩んでいましたが、どうしても留学を諦めきれませんでした。そこで大学2年の時に人文学部の学生に交じってドイツ語の授業を受けたり、三重大大学に来ているドイツからの留学生とタンデムをしたりして、2年の9月に留学を決断しました。留学前に4月からしか入寮できないことを知り、人文学部の大河内先生や留学支援室の方に色々協力していただきました。そのおかげで、エアランゲン・ニュルンベルク大学日本学科で秘書をしている方の家に1か月間ホームステイしていました。ホームステイ先ではとても良くしていただき、寮生活では味わえない、ドイツ人家庭での生活を楽しむことができました。1年間、私はエアランゲン・ニュルンベルク大学に留学しました。私以外にも日本人の留学生がいましたが、みんなドイツ語の専門の人ばかりでした。留学当初はドイツ語のレベルの差に愕然とし、現地の人々とコミュニケーションが満足にできなくて悔しい思いをすることもありました。また中にはとても冷たいドイツ人もいて、自分で決めた留学なのに「早く日本に帰りたい。」と毎日考えていました。しかし「他の日本人留学生に追いつきたい。もっと現地の人と色々なことを話したい。」と思い、2週間に1回開催される日本学科の学生との交流のための飲み会や日本学科主催のパーティーなどに積極的に参加しました。さらに授業以外に前期に2人、後期に3人のドイツの学生と週に1回ずつタンデムをしてドイツ語を勉強するとともに交流を深めました。語学コースでは多くの留学生と仲良くなりドイツ国内を一緒に旅行したり、母国の料理でもてなしあったりしました。さらにドイツ語を話す機会を作るために1か月に2回ほどホストファミリーを訪ねてコミュニケーションをはかりました。その結果、多くのドイツの学生や留学生と知り合うことができました。このように辛いことがたくさんありましたが、その分楽しいこともたくさんありました。今では「留学をしてよかった。」と心から思っています。私はこの留学を通してドイツ語の語学力だけでなく、本当に多くの大切なものを得られたと思います。その一つが様々な人と出会えたことです。初めは日本に帰りたと思っていたのに、帰る時に日本に帰りたくないと思うほどたくさんの方の良い出会いがありました。私が留学しなければなかったであろうこれらの出会いは辛かった私の留学生生活を心に残るほど素晴らしい留学生活に変えてくれました。そして人とのつながりの大切さを知り、感謝した1年になりました。この留学はこれからも私にとって大きな財産になると思います。

今後留学する人へのアドバイス

私がこの留学で大切だと思ったことが1つだけあります。それはたくさんの人と積極的に交流することです。私は元々人見知りで人と関わるのがあまり得意ではありませんでした。しかし現地の人々や留学生と積極的に交流したことで、「もっとたくさん話したいからもっと勉強しよう。」とドイツ語の勉強のモチベーションが上がりました。時には授業で知り合った留学生とドイツ語を教え合ったりしました。また、現地の人や様々な国からきた留学生と知り合うことができるのも留学の醍醐味だと私は思います。なので、これから留学する人には、大学の授業を頑張るだけではなく、大学以外の場でも積極的に多くの人と関わることをおすすめしたいです。

報告書記入日

2018年3月10日